平成 22 年 6 月 10 日 作成

事務事業	■サービス部門						ザイムスコード及び個別事業名			
No./名 称	□支 援 部	門工作					463 文化行政推進事業		推進事業	
主管課	文化推進課			関連課 鎌倉芸術館担当			1381	文化行政	推進事業	
分野名			文化							
	世標 歴史を継承し、文化を創造するまち <u></u> 歴史を継承し、文化を創造するまち									
(目標値)			たな文化を創造・発信							
人口等の	データ区分	21年		20年度		信				
データ	人口	176,669人		176,484人		·各年4月1日 (住民基本台帳)				
世帯数		78,131世帯		77,430世帯		(正戊至芥口报)				
)中兴·发生	田学洛语 法等法 10		· m	10 01748						
運営資源	決算値	19,163千円		18, 217千円				 指標と評価		
状 況	(国 · 県) (負担金等)					九学法二十 艹华		1日保へ計1曲		
	(一般財源)			18, 217千円		決算値には、芸術   館使用料(執行課   芸術館)938,340円   含む		指標	参加者数	
	人員配置数			1. 5人						
	人件費			14, 438千円				評価	<b>©</b>	
	協働の	市民文化祭企画運営委		市民文化祭企画運営委員				◎目標を達成 ○	┃ 目標に向かって前進 △横ばい ×後退	
	パートナー	員会·Jazz鎌倉実行委員 会		会·Jazz鎌倉実行委員会					目標値	実績値
事務事業			- m	00 0557				20 = =	29,500	
運営経費	総事業費	35,470=	<del>- 111</del>	32, 655千月	7			20年度		51,777人
	市民1人当	201	0	185円				21年度	29,500	
	りの経費	2011	,	1001 1				21千汉		48,497人
	対象者1人	731₽	9	631円				22年度	29,500	
A	当りの経費								00.500	
ベンチマーク(県内外自	団体名							23年度	29,500	
治体や民間								8454	29,500	
団体との比 較値)								最終年度 (23年度)	25,000	
		(21年度事務	事業を実施	 <del>をするうえでの課題</del>	•問題	点は、ど	のようなことで	したか)		
	課題·問題 点	・鎌倉市民文作 員会で検討し ・歴史的な文化	化祭では、 たが、実が 化の発信。	新たな文化の創造 をすることができなだ イメージは高いが新	・発信 かった。 しい文	に向け、 .化活動(	若い世代の参 の想像力が十変	:加を求める事 分でない。		
		・鎌倉市民文作 員会で検討し ・歴史的な文化	化祭では、 たが、実が 化の発信。	. 新たな文化の創造 施することができなか	・発信 かった。 しい文	に向け、 .化活動(	若い世代の参 の想像力が十変	:加を求める事 分でない。		
	点	・鎌倉市民文を 員会で検討し ・歴史的な文化・特色ある歴5 い。	化祭では、 たが、実が 化の発信・ 史的背景を	新たな文化の創造 をすることができなだ イメージは高いが新	i・発信 かった。 しい文 りのあ	に向け、 。 に化活動の る人材が	若い世代の参 の想像力が十分 がありながら鎌	加を求める事 分でない。 倉らしい文化	推進課の情報	発信力が弱
		・鎌倉市民文作員会で検討し ・歴史的な文化・特色ある歴のい。 (課題・問題点・平成21年度	化祭では、 たが、実が 化の発信。 史的背景を について E市民文化	新たな文化の創造をすることができながないできなができなができなができなができながまた。 芸術文化にゆかどのような創意エラ	・発信かった。 いい文 いりのあ ・グイク	に向け、 化活動の ある人材が きをしまし ミントでに	若い世代の参 の想像力が十つがありながら鎌 したか。また、と よ、大船高校	加を求める事 分でない。 倉らしい文化 でのような成果 合唱部や、	推進課の情報 <del>!</del> がありましたか	発信力が弱い)
	点 創意・エ 夫・課題等 の改善点	・鎌倉市民文付員会で検討し・歴史的な文付・特色ある歴のい。 (課題・問題点・平成21年度部によるコー	化祭では、 たが、実施 化の発信。 中的背景を について を市民文化 ・ラスでの	新たな文化の創造をすることができながイメージは高いが新た、芸術文化にゆかとのような創意エラとのかを得たことで	・発信からいい いいの さ、 ・グ そ、 で、 そ で で た。 と が しいの と で う で う で う で う で う で う で う で う で う で	に向け、 化活動の る人材が きをしまし い世代の	若い世代の参の想像力が十つがありながら鎌 たか。また、と よ、大船高校 ひ入場者が増	加を求める事 分でない。 倉らしい文化 でのような成果 合唱部や、 加した。	推進課の情報 <del>いありましたか</del> 比鎌倉女子学	発信力が弱い
	点 創意・エ 夫・課題等 の改善点 21年度の	・鎌倉市民文付員会で検討した。 ・歴史的な文化・特色のる歴 がい。 (課題・問題点・平成21年度部による行う) ・市制施行7	化祭では、 たが、実施 化の発素 について について を で で の の 用 と で の で で で で で で で で で で で の で で の で で の で で の で の で の で の	新たな文化の創造をすることができながないできなができなができなができなができながまた。 芸術文化にゆかどのような創意エラ	・発信からいり という	に向け、 化活動の る人材が きをしまし ドントでし い世代の 担い手と	若い世代の参の想像力が十分がありながら鎌 たか。また、と よ、大船高校 は入場者が増なる子どもた	加を求める事 分でない。 倉らしい文化 でのような成果 合唱部や、 加した。	推進課の情報 <del>いありましたか</del> 比鎌倉女子学	発信力が弱い
創意·工 夫·課題等	点 創意・エ 夫・課題等 の改善点	・鎌倉市民文付 員会で的なを い・特色のる歴 い・特色ののでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	化祭では、 たが、実に との発量を につりませる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	新たな文化の創造をすることができながイメージは高いが新た、芸術文化にゆかどのような創意エラと祭のオープニンの参加を得たことであたり、新たな文を公募により作成	・発信からしり ・グで、化し、 ・グで、化し、 ・グで、化し、	に向け、 化活動は ある人材が きをしまし ジントでに い世氏の 担い手配	若い世代の参の想像力が十分がありながら鎌たか。また、とよ、大船高校)なる子どもたった。	加を求める事 分でない。 倉らしい文化 でのような成果 合唱部た。 かした若者に さなおおれる。	推進課の情報 <mark>がありましたか</mark> 比鎌倉女子学 も親しまれ、約	発信力が弱い
創意・エ	点 創意・エ 夫・課題等 の改善点 21年度の	・鎌倉市民文作 員会で的な文をいい。 (課題・問題点・平成21年度 ・市はよる行うでは、では、1年度のでは、1年	化祭では、 たが、実信、 を にの で に に に に に に に に に に に に に	新たな文化の創造をすることができなができなができなができなができなができなができなができなができなができな	i・発信 かしい たがこいの さがでいる で れて たい で たっ た。 なが た。 なが た。 なが た。 なが た。 なが た。 なが た。 なが た。 なが た。 なが た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。 た。	に向け、 にのは、 にのるが をしまし さントでに い世に手む にしののかっ きなかっ	若い世代の参の想像力が十分がありながら鎌たか。また、とは、大場者がもたいなる子った。	加を求める事 分でない。 倉らしい文化 でのような成果 合唱した。 ちや若者に ようなことです	推進課の情報 がありましたが 比鎌倉女子学 も親しまれ、約	発信力が弱い
創意·工 夫·課題等	点 創意・工 夫・課題 の改年度の 成果 未解決の課	・鎌倉市民文化 員会で的なる に特ななを い。 (課題・問題点・平による施鎌倉・市する鎌倉で (21年度事務を ・鎌倉の文化	化祭では、 たが、 たが、 を で、 を で、 を で、 を で、 で、 を で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	新たな文化の創造をすることができながイメージは高いが新た、芸術文化にゆかどのような創意エラと祭のオープニンの参加を得たことであたり、新たな文を公募により作成	は・発信からいり、 ・かで、化し、 ・かで、化し、 ・次で、化し、 ・ので、担じ、 ・で、して、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で、 ・で	に向け、 にんる をといせい をといせい はいりのかい きな若い きな若い	若い世代の参の想像力が十分がありながら鎌たか。また、とは、大場者がもたいなる子どもたった。たものはどのの世代向けの企	加を求める事 分でない。 含らしい。 文のような成や、 合加しや若 合加さ若 とでする と も が求める事 に なっしい。 と は いっと は いっと と いっと と いっと も しい。 と いっと も いっと も いっと も いっと も いっと も と いっと も と も と も と も と も と も と と と と と と と と	推進課の情報  がありましたが  比鎌倉女子学  も親しまれ、  か)  れる。	発信力が弱い
創意·工 夫·課題等	点 創意・工 夫・課題等 の改度の は果	・鎌倉でいる (課事) ・鎌倉で的あい。 (課事に制るを) は、 (課事に制るを) ・ (記事を) ・ (21年のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	化 に に に に に で に に で に に で に に に に に に に に に に に に に	新たな文化の創造 をすることができなが イメージは高いがが を、芸術文化にゆか とのような創意エラ 化祭のオープニとて を参加を得たことて あたり、により作成 を公募により作成 個において対応(解 なげるため、次世・	きかしり という化し 決代が発信でする さんだいの なく若の (こう)を新している	にいるをきずい世ののかった。ためるしまで代表をした代手配のかった。	若い世代の参の想像力がら嫌いたか。また、校りなる行ったもの向けのの企業を表した。	加を求める事分のではいい、文のようのようのようのようのようのようのようのはでいた若のではでいた。 一般ではいいなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大き	推進課の情報 がありましたが 比鎌倉女子学 も親しまれ、約 か) れる。 いい。	発信力が弱かりである。
創意·工 夫·課題等	点 創意・工 夫・課題 の改年度の 成果 未解決の課	・鎌倉市民文化 ・鎌倉で的あい。 (課題・記21年の ・平に制る ・平に制る ・平に制る ・平に制る ・平に制る ・平は ・単位 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、	化 に に に に に で に に で に に で に に に に に に に に に に に に に	新たな文化の創造をすることができなができなができなができながらいない。 と、芸術文化にゆかとのような創意エラとの参加を、新たりできながあたり、によな作成を公募により作成を公募により作成なけるため、次世ではるため、高にイメージは高いない。	きかしり という化し 決代が発信でする さんだいの なく若の (こう)を新している	にいるをきずい世ののかった。ためるしまで代表をした代手配のかった。	若い世代の参の想像力がら嫌いたか。また、校りなる行ったもの向けのの企業を表した。	加を求める事分のではいい、文のようのようのようのようのようのようのようのはでいた若のではでいた。 一般ではいいなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大きなが、大き	推進課の情報 がありましたが 比鎌倉女子学 も親しまれ、約 か) れる。 いい。	発信力が弱かりである。
創意·工 夫·課題等	点 創意・工 夫・課題 の改年度の 成果 未解決の課	・鎌倉でいる (課平に制る 度の的あ 間年コ行倉で (21年度のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	化た化的 に 下の市 事の化学で、発情 い 民で年唱 の のの の のの の の の の の の の の の の の の の の	新たな文化の創造をすることができなができなができなができながらいない。 と、芸術文化にゆかとのような創意エラとの参加を、新たりできながあたり、によな作成を公募により作成を公募により作成なけるため、次世ではるため、高にイメージは高いない。	きかしり とうで、化し、決代がか発っいの 改 イ若の 、 )を新り信え文を 著ってもり で 担しの	に、化る <b>き</b> くい世に きういあ まだい世に かった ますでの さます での なお する いん人	若い世代の参 の想像ながらいまれている。 から、まいでは、大場子では、大場子では、大場子では、大場子では、 たものは、は、たいである。 たものは、ないである。 は、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	かかる事かのでない。文成や、 でなしいないないないないないないないないないないないないないでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでもな。 でいるでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなでもなで	推進課の情報 がありましたが 比鎌倉女子学 も親しまれ、約 か) れる。 い文化の情報	発信力が弱かりである。
創意·工 夫·課題等	点 創意・工 夫・課題点 21年度の 成果 未解決の課 題・問題点	・鎌会では、	化た化史 に まつの市 事の化史 ない という は、 発背 い 民で年唱 の 層の的 か 芸のに 要 の の の が 芸の で 、 発情 い 大のに 歌 取る 発情 か で が の に 歌 し か が 芸の に 歌 し か が 芸の に 歌 し か が 芸の か が 芸の か が 芸の か が 芸の か が まか か が まか か が まか か か か まか か か か か か	新たな文化の創造をするというできなができなができなができながらいにゆいがないにはない。芸術文化になりをかけるかがかが、芸術なが、はいて対し、芸術ないではないでは、まないでは、まないでは、大きないでは、芸術文化にはいるというないはにはいるというない。	Etholy ドグで化し、決代がかいで発っいの、改く若の、、)を新りてで担しの。	に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、	若い世代の参 の想像ながらいた。大きな人のです。というないでは、大場子ではいいです。というないでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、た	加を求める事かでない。文成や、文明とおい。文成や、大学のはいなが、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	推進課の情報 がありましたが 比鎌倉女子学 も親しまれ、約 か) いな。 い文化の情報	発信力が弱いのでは、対象を関いています。
創意·工 夫·課題等	点 創意: 課題 意 課 意 課 き 度 果 発 年 成 解 ・問題 点 の の の 年 り の の の の の の の の の の の の の の の	・鎌会では、	化た化中 に でつり 事の化史 ないまで、発背 い 民で年唱 の 層の的 か 芸 。 のする。	新たな文化の創造をするというできなができなが高いには高いには高いには高いには高いには一般を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	in いしり たがご化し 決代がか いを発っいの 改 イ若の 、 )を新り 「今得に文あ」書 イモ拉C で担しの「今得」	に、化るをいり、世のでは、いるをいかでは、というでは、世のでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、は、というでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	若い世代の参 の想像ながら がありなが。 たい大場子では 大島がもか。 から がありなが。 大場子では がありながら たもの向ののは がありがありながら での金さが でいせれる。 では での金さが でいせれる。 では でいました。 でいまた。	加を求める事かでない。文成や、文明とおい。文成や、大学のはいなが、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	推進課の情報 がありましたが 比鎌倉女子学 も親しまれ、約 か) いな。 い文化の情報	発信力が弱いのでは、対象を関いています。
創意·工 夫·課題等	点 創意・工 夫・改 の ま の は り は り は り り は り り り り り り り り り り り	・鎌会といいは、一部では、一番では、一番では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部	化た化史 に 下つの市 事の化史 なのすがで、発背 い民で年唱 の層の的 か芸。たは、実信景 て文のに歌 取を発情 ためる かんしょ かんしょう しょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう しょう かんしょう しょう かんしょう しょう かんしょう しょう かんしょう しょう かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう かんしょう しょう かんしょう かんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	新たな文化の創造をするというできなができなができなができながらいには高いには高いには高いには一般を表します。 とのような創意では、芸術をから参加を表によった。 とのようなでは、ままでは、一般をからないできまれまが、できままが、では、大きないでは、ないでは、大きないでは、はいては、はいいでは、はいいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいでは、はいいいではいいでは	きかしり ようで化し 決代がか いす 事発のいの 改 イ若の 、 )を新り て そ 業信に文あ き イモ拉 C で 担しの 一 今年 の	に、化るをいい担いのである。 後て、推向 活人 しゃ代手配 かお文る の子 進む がい とん しょど を	若い世代の参 の想像な がありなが。 大 は 大 は 大 は 大 は な を も の 向のの は は が が も の は は が も の は が も の は が も の は が の は が の は が も の は の る は の は の は の は の は の は の は の は の は の は の る 。 は る は 。 は る は 。 は る は 。 は る る 。 も る る 。 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 る 。 。 る 。 。 。 る 。 。 。 る 。 。 。 。 る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	かかかった かった かった かった かった かった かった かった かった かっ	推進課の情報 がありましたが 比鎌倉女子学 も親しまれ、約 か) れる。 い文化の情報 たいの情報	発信力が弱 か) 中園コーラス 即土愛を醸 発信力が とができる
創意·工 夫·課題等	点 創意: 課 意 21年成 21年成 来解: 開 の の の の が 善 の の が も の の の の の の の り の の の の の の の の の の の	<ul> <li>・鎌会歴やい。</li> <li>・即本のでは、</li> <li>・は、</li> <li></li></ul>	化た化史 に まつの で、発背 で、発背 で、子の で、発背 で、子の に 市フ周愛 業のの的 か芸。 た事 は、実信景 で、文のに歌 取を発背 ないまで を発す ないまで を手ののののが ないまで ないまで ないのの。 ないまで ないのの。 ないのの。 ないのので、 ないのので、 ないのので、 ないのので、 ないのので、 ないのので、 ないのので、 ないのので、 ないので、 ないのので、 ないのので、 ないのので、 ないのので、 ないので、 ないのので、 ないので、 ないので、 ないので、 ないので、 ないので、 ないので、 ないので、 ないので、 ないので、 ないので、 ないので、 ないで、 ないので、 ないで、 、 ないで、 、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 ないで、 、 、 ないで、 ないで、 、 、 ないで、 、 、 、 、 ないで、 、 、 、 、 、	新たな文化の創造をすることでは、芸術文とが高いにゆきなができた。芸術文とは高いにゆきないできた。芸術文を創立されている。またのののののののののでは、芸術では、一次のでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	きかしり ようで化し 決代がか いす 事発のいの 改 イ若の 、 )を新り て そ 業信に文あ き イモ拉 C で 担しの 一 今年 の	に、化るをいい担いのである。 後て、推向 活人 しゃ代手配 かお文る の子 進む がい とん しょど を	若い世代の がありなった。 があい。 た、大場子での向ののが対若 を がありいでいた。 がありなった。 がありなった。 がありなった。 がありなった。 がありなった。 がありなった。 がはた。 がはいま。 がはいま。 がはいま。 がはいま。 がはいま。 がはいま。 がはいま。 がはいま。 がはいま。 がはいま。 がはいま。 でのののののは、 でののののは、 でののののは、 でののののは、 でののののは、 でののののは、 でののののは、 でいました。 でののののは、 でいました。 でいまた。 でいまた	かか かから かん	推進課の情報 がありましたが 比鎌倉女子・ も親しまれ、多かかる。 い文化の情報 がい親しむこ	発信力が弱 か) 中園コーラス 即土愛を醸 発信力が
創意·工 夫·課題等 改善状況	点 創意・理 記 記 記 記 記 題 主 の は の は 発 は の に み に り の に り の に り の に り の に り の に り の に り の に り の に り の に り の し の に り の し の し の し り の し り の し り し り し り し り	・鎌会をいい、	化た化史 に で、発背 で、発背 で、発背 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、発音 で、文のに歌 取を発音 で、対して を で、対して が、対して で、対して が、対して で、対して が、が、対して が、対して が、対して が、対して が、が、対して が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、が、	新たな文化の創造を対している。 をするが高いにはないできな新から、芸術するでは文化できな新からできなが高いには一定では、芸術では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	きかしり ようで化し 決代がか いて 事、 ―― 信た文あ きっており で担しの 今得 常存	に、化るをシャリのを若すいめ、後て、推業的、活材、よで代手配がおするの子、進業の子、進業のでは、動材をしてのという。	若い世代ののののでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たい	かかかった。 かかかかかかかかから かいでいないないないでいた。 からからでいた。 からがいますが、 からいではいなが、 からいではいなが、 からいではいるではいる。 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいでは、 ではいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	推進課の情報 がありましたが 比鎌倉女子・ も親しまれ、 かいれい文化の情報 たがの見直しを検	発信力が弱 か) 中園コーラス 即土愛を醸 発信力が
創意·工 夫·課題等 改善状況	点 創意・工 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 題 き 度 果 ・ の の に み 年 成 解 り の の の の の の の の の の の の の の の の の の	・鎌会歴・・・・・ (課平部・成 (21鎌座特別) 上鎌業若上 (本) に対する (21鎌座特別) 上鎌業 に記 (本) に対する (21 鎌座の的あ (21 名施鎌 事文なる (21 名施鎌 事文なる (21 名を世の (21 名を) がある (21 名を) がある (21 名を) に対する (21 名を) に対す	化た化史 に を がの的 に 市 フ 同愛 業 のの的 が で、発背 い 民で年唱 の のの的 か 芸 の の の の の の の の の の の の の	新たな文化の創造を対している。 をするとが高いにゆきなが高いにゆいます。 とのような相談できながあた。 とのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	きかしり きんごれし 決代がか いを 事、 ―― 合い発っいの 改 イ若の 、 )を新り 「一令 一帯 一人 「一人」」(一〇) 「一人」) 「一人」(一〇) 「一〇)」(一〇) 「一〇)」(一〇) 「一〇)」(一〇) 「一〇)」(一〇)」(一〇)」(一〇)」(一〇)」(一〇)」(一〇)」(一〇)」(	に、化るをいり、とういめ、後て、)事に、化るをン世いのな若文るが子、進業に、動材、まで代手配が、い化人に、というでは、動材をでのといい、し、し、というというでは、までのといいのと、というというでは、	若い世代ののようなでは、大場のであり、たいでは、大場のである。ためでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場では、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大の	かかかった。 かかかかかかかかから かいでいないないないでいた。 からからでいた。 からがいますが、 からいではいなが、 からいではいなが、 からいではいるではいる。 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいなが、 ではいいでは、 ではいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	推進課の情報 がありましたが 比鎌倉女子・ も親しまれ、多かかる。 い文化の情報 がい親しむこ	発信力が弱 か) 中園コーラス 即土愛を醸 発信力が
創意·工 夫·課題等 改善状況	点 創意・工 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 題 き 度 果 ・ の の に み 年 成 解 り の の の の の の の の の の の の の の の の の の	・鎌金を中・いく (21 鎌座特別・事・・・・) (課平部です) 年倉史色 題成に制る 年倉史色、記倉変い記 (上鎌業に記 (本) 大) (21 3 後) (上鎌業に記 (本) 大) (21 3 後) (21 3 6 後) (21 3 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	化た化史に関うの市事の化史をのすずない。一般に大いの的に、市ス周愛、業のの的が芸の大事に大け情で、発背の民で年唱のののが芸の大事に大きに、大変のに歌いなが発情がある。大学ののでは、対している。	新たなことでは、 との を という で とり で と	きかしり きんごれし 決代がか いを 事、 ―― 合い発っいの 改 イ若の 、 )を新り 「一令 一帯 一人 「一人」」(一〇) 「一人」) 「一人」(一〇) 「一〇)」(一〇) 「一〇)」(一〇) 「一〇)」(一〇) 「一〇)」(一〇)」(一〇)」(一〇)」(一〇)」(一〇)」(一〇)」(一〇)」(	に、化るをシャリのを若すいめ、後て、推業的、活材、よで代手配がおするの子、進業の子、進業のでは、動材をしてのという。	若い世代ののののでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たいでは、たい	かかった。 かからした。 からからない。 からからない。 からない。 からない。 からない。 ない。 なが、 なが、 なが、 なが、 なが、 はいいで もので もので もので もので もので もので もので もので もので もの	推進課の情報 がありましたが 比鎌倉女子・ も親しまれ、 かいれい文化の情報 たがの見直しを検	発信力が弱い 中園コーラス 即土愛を醸 発信力が とができる 検討する。
創意·工 夫· 課 設 語 状況	点 創意課 記 記 記 記 記 記 題 主 の は な は な は な は な り の の が き り の の の の ら う も う も う も う も う も う も う も う も う も う	・鎌金座・い、は、一部・成 (21鎌座特別 上鎌業若上 (11 大 いつ市検的あ 問 21 る施鎌 事文なる は、 12 を 13 を 14 を 15 を 16 を 16 を 16 を 16 を 17 を 16 を 17 を 18	化た化史によう〇市事の化史なのする。本語、根情の祭がの的に、市ス周愛、業のの的が芸の大部で、外で、発背の民で年唱の層の的が芸のた事に、関係のののは、実信景に文のに歌いな発情がある。	新たなことで、 との の を という の を という の を という かった いっかっ かっかい かっかい かっかい かっかい かっかい かっかい	まかしり よがご化し 決代がか いを 事、 ―― 合 ―― 発っいの 改 イ若の、 )を新り て そ 業既 ―― 又 評信に文あ きっており で 担しの 一今得 の存 ―― 【 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】	に、化る をくい担い きういめ 後て ひ事 は 面に 化る をン世いの な若文る の子 進業 縮果 け、動材 までのとれ つい化人 よど をの 小果	若い世代がられています。 がありないではいます。 たまりないではいまがられています。 たまりないではいまができます。 たまりないではいまができます。 たまいますができます。 たまいますができます。 たまいますができます。 たまいますができます。 ではいますができます。 ではいますができます。 ではいまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまないまないまないまないまない。 ではないまないまないまない。 ではないまないまないまないまない。 ではないまないまないまないまないまない。 ではないまないまないまないまない。 ではないまないまないまないまないまない。 ではないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	かか かか かか かか かかでらし いでらし いでらし いでらし いでらし いでらし いでらし いでらし いでらし いでらし いでらし いでらし いでらし いでらし いでらし いでいる でが いでが いでが いでが いでが いでが いでが いでが	推進課の情報が動きしたが 比親しますれ、がいこの見でである。化の見では、かいれい文がに見ている。 評価業にをを持ている。 では、かいたがに見ている。 にの見では、がいたがに見ている。 では、かいたがに見ている。 にの見では、がいたがにはいる。 にの見では、がいたがにはいる。 にの見では、がいたがにはいる。 にの見では、かいたがにはいる。 にの見では、かいたがには、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	発信力が弱かり で
創意·工 夫·課題等 改善状況	点 創意・工 ・ 記 ・ 記 ・ 記 ・ 題 き 度 果 ・ の の に み 年 成 解 り の の の の の の の の の の の の の の の の の の	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<ul> <li>化た化史 に まつの市 事 の化史 なのすぎな   評別 表</li></ul>	新たなこが という かん では では では でい	まかしり よがご化し 決代がか いを 事、 ―― 合 ―― 発っいの 改 イ若の、 )を新り て そ 業既 ―― 又 評信に文あ きっており で 担しの 一今得 の存 ―― 【 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】	に、化るをいり、とういめ、後て、)事に、化るをン世いのな若文るが子、進業に、動材、まで代手配が、い化人に、というでは、動材をでのといい、し、し、というというでは、までのといいのと、というというでは、	若い世代ののようなでは、大場のであり、たいでは、大場のである。ためでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場のでは、大場では、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大の	かかった。 かかった。 からからというでは、 でいるでいるでは、 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。	推進課の情報 が嫌り も かれい文 かれい文 かれい文 かれい文 かれい文 かに 見 価業 して携 で連動 ことを協力 で連動 ことを協力 でもまする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	発信力が弱かり は かり は で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で
創意·工 夫· 課 設 語 状況	点 創意課 記 記 記 記 記 記 題 主 の は な は な は な は な り の の が き り の の の の ら う も う も う も う も う も う も う も う も う も う	・鎌金座・い、は、一部・成 (21鎌座特別 上鎌書若上 神仏 厳直芸倉で史色 題・成に制る 年倉史色い。 記倉をい記 (1) 大いつに民討なる 問年コ行倉 奪の的あ 対ゆ推世の 課 財つゆか 対して いった りょう しょう しょう しょう かんしん ままり しょう	<ul> <li>化た化史 に まつの市 事 の化史 なのすぎな   評別 表</li></ul>	新たなこと文成 解世いゆ つけ るり、 これ たいに のきがあた と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	まかしり よがご化し 決代がか いを 事、 ―― 合 ―― 発っいの 改 イ若の、 )を新り て そ 業既 ―― 又 評信に文あ きっており で 担しの 一今得 の存 ―― 【 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】 「 】	に、化る をくい担い きういめ 後て ひ事 は 面に 化る をン世いの な若文る の子 進業 縮果 け、動材 までのとれ つい化人 よど をの 小果	若い世代がられています。 がありないではいます。 たまりないではいまがられています。 たまりないではいまができます。 たまりないではいまができます。 たまいますができます。 たまいますができます。 たまいますができます。 たまいますができます。 ではいますができます。 ではいますができます。 ではいまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまする。 ではないまないまないまないまないまない。 ではないまないまないまない。 ではないまないまないまないまない。 ではないまないまないまないまないまない。 ではないまないまないまないまない。 ではないまないまないまないまないまない。 ではないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	かかった。 かかった。 からからというでは、 でいるでいるでは、 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。 かった。	推進課の情報が動きしたが 比親しますれ、がいこの見でである。化の見では、かいれい文がに見ている。 評価業にをを持ている。 では、かいたがに見ている。 にの見では、がいたがに見ている。 では、かいたがに見ている。 にの見では、がいたがにはいる。 にの見では、がいたがにはいる。 にの見では、がいたがにはいる。 にの見では、かいたがにはいる。 にの見では、かいたがには、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	発信力が弱かり は かり は で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で